

整理番号
167

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	ふくしま森林再生事業				担当課	農林整備課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			担当係	林業振興係
施策項目	2	林業・森林保全			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	1	林業生産基盤の充実			事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	6	2	2	ふくしま森林再生事業	

目的と方針【PLAN】	森林が将来にわたって適正に整備・管理され、木材生産機能をはじめ、多面的な機能が発揮されるよう、計画的な森林整備を促進します。				
事業概要【PLAN】	間伐等の森林整備と路網整備を一体的に実施し、森林本来の持つ公益的機能を維持、回復し森林再生を図ります。				
対象【PLAN】	伊達市内の山林（民有林）		意図【PLAN】	森林の健全な状態維持	

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	森林整備計画の策定 適正な維持管理（間伐・伐採等） 作業道等の整備				
----------------------	---	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		54,223	44,809	24,956			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		14,377	10,777	9,128			
事業費合計		千円		68,600	55,586	34,084			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
森林整備面積	ha	目標値が実績値以上となること	目標値	15.00	18.20	6.00	—	—	
			実績値	15.78					
			達成率	100.0%					

(２) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか				適性の管理がなされていない森林が増加し、森林の持つ公益的機能を回復する必要がある。				
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか				森林整備等による公益的機能の維持、回復を図る。				
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				ふくしま森林再生事業（補助事業）を活用して森林整備等を実施する。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		令和７年度事業をもって「ふくしま森林再生事業」の補助メニューが終了する見込みであるため、それ以降の森林整備等の対応について課題である。					

整理番号
168

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	広葉樹林再生事業					担当課	農林整備課		
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	林業振興係	
施策項目	2	林業・森林保全					計画期間	令和５年度　～　令和７年度	
主な取組	1	林業生産基盤の充実					事業区分	補助	
予算科目	会計	款	項	目	大事業				
	1	6	2	2	ふくしま森林再生事業（広葉樹林再生事業）				

目的と方針【PLAN】	森林が将来にわたって適正に整備・管理され、木材生産機能をはじめ、多面的な機能が発揮されるよう、計画的な森林整備を促進します。		
事業概要【PLAN】	放射性物質の影響により、しいたけ原木生産が減少し、原木となる広葉樹の伐採、更新が進んでいないことから、原木林資源の循環利用に向けて、伐採、萌芽等を実施し、広葉樹林の計画的な再生を図ります。		
対象【PLAN】	伊達市内の広葉樹林（民有林）	意図【PLAN】	ほだ木等（しいたけ原木）利用のための原木林を再生する。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	広葉樹の伐採、萌芽による放射性物質の含有量の軽減を図る。		

事業費【D0】		年度 単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (予算)	07年度 (予算)	08年度 (予算)	09年度 (予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	13,300	46,497	49,731			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	0			
事業費合計		千円	13,300	46,497	49,731			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
森林整備面積	ha	目標値が実績値 以上と なること	目標値	8.70	9.70	12.80	10.00	12.00
			実績値	8.66				
			達成率	99.5%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】								
	評価視点			評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか			原発事故により利用不可能となったほだ木（しいたけ原木等）の利用の再開のため必要性がある。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか			広葉樹伐採による萌芽によって、樹木が吸収した放射能物質の軽減を図り、しいたけ生産者が原木栽培の再開を期待できる。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか			広葉樹林再生事業（補助事業）を活用し、福島県と協議し、適切に実施している。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】								
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今後も、原木材資源の循環利用に向けて、広葉樹林の計画的な再生を図っていく。					

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	森林資源を生かした生業づくり事業					担当課	農林整備課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	林業振興係
施策項目	2	林業・森林保全					計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	2	計画的な森林整備の促進					事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	6	2	1	森林資源を生かした生業づくり事業			

目的と方針【PLAN】	森林が将来にわたって適正に整備・管理され、木材生産機能をはじめ、多面的な機能が発揮されるよう、計画的な森林整備を促進します。		
事業概要【PLAN】	林業の活性化を図る一環として、林業に関する人材育成や普及啓発を目的に、林業就業に関わる資格等の取得に要する講習費用を助成します。		
対象【PLAN】	新規林業就業者等	意図【PLAN】	林業就業者の増加
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	林業就業に関わる資格等の取得に要する受講費用等の助成による新規林業就業者を確保する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		463	639	1,442			
	事業費合計	千円		463	639	1,442			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
資格取得受講者数	人	目標値が実績値以上となること	目標値	3	5	5	5	10	
			実績値	4					
			達成率	100.0%					

(２) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか				林業に従事するには種々の資格取得が必要であるため、事務的・金銭的な支援は有効である。				
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか				林業従事に必須な資格に関する支援のため、事業効果は期待できる。				
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				受講者数に応じて契約を見直し適切に費用削減を行った。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		当該助成制度の利用者が少ないため、広報手段、助成活用条件等の見直し、改善する必要がある。					

整理番号
170

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	森林資源を生かした生業づくり事業（再掲）					担当課	農林整備課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	林業振興係
施策項目	2	林業・森林保全					計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	2	計画的な森林整備の促進					事業区分	その他
予算科目	会計	款	項	目	大 事 業			
	1	6	2	1	森林資源を生かした生業づくり事業			

目的と方針【PLAN】	森林が将来にわたって適正に整備・管理され、木材生産機能をはじめ、多面的な機能が発揮されるよう、計画的な森林整備を促進します。		
事業概要【PLAN】	民有林（人工林）を対象に、森林経営管理法に基づき森林所有者の森林経営、管理に対する意向確認や意向を反映した経営管理権集積計画（案）を策定し、森林機能の維持、回復等を図ります。		
対象【PLAN】	市内民有林（人工林）	意図【PLAN】	市内民有林の整備促進
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	調査の実施計画に基づいて、計画的に意向調査を実施する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		5,830	2,208	6,600			
	一般財源	千円		0	0	0			
	事業費合計	千円		5,830	2,208	6,600			

（１）伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
意向調査実施区域	ha	目標値が実績値以上となること	目標値	289.28	198.97	233.92	198.19	225.02
			実績値	289.28				
			達成率	100.0%				

（２）チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	民有林（人工林）における公益的機能の回復、維持を図る必要がある。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	意向調査を実施することで、停滞している民有林の森林整備を進め、森林の公益的機能の回復が図られる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	計画に基づいて、適切に調査を行っている。

（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	森林管理に関する所有者からの意向調査の回答率は低いが、この調査によって所有森林への関心は高まっている傾向にある。

整理番号
171

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	伊達市公共建築物等木材利用推進事業					担当課	農林整備課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	林業振興係
施策項目	2	林業・森林保全					計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	3	地域材の利用					事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
					予算計上なし			

目的と方針【PLAN】	森林が将来にわたって適正に整備・管理され、木材生産機能をはじめ、多面的な機能が発揮されるよう、計画的な森林整備を促進します。						
-------------	--	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	伊達市公共建築物等木材利用推進方針に基づき、市の公共建築物の整備や公共土木工事等において地域材の利用に努めるよう、関係部署等に呼びかけます。						
------------	--	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	伊達市公共建築物等		意図【PLAN】	市産材の利用による林業の活性化を図る。			
----------	-----------	--	----------	---------------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	伊達市公共建築物等木材利用推進方針に基づいた事業実施の検討をする。						
----------------------	-----------------------------------	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		—	—	—			
	都道府県支出金	千円		—	—	—			
	地方債	千円		—	—	—			
	その他	千円		—	—	—			
	一般財源	千円		—	—	—			
	事業費合計	千円		—	—	—			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
掲示板等での庁内への周知回数	回	目標値が実績値以上となること	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	市内森林を活用した林業の活性化を図る。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	公共建築物における市産材利用による林業への関心の向上が見込まれる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	予算計上なし。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和６年度において方針内容について改定予定である。
--------	----	-------------------------	---------------------------

整理番号
172

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	森林環境交付金支援事業				担当課	農林整備課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			担当係	林業振興係
施策項目	2	林業・森林保全			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	4	森林の保全と活用			事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	6	2	2	森林環境交付金支援事業	

目的と方針 【PLAN】	森林が将来にわたって適正に整備・管理され、木材生産機能をはじめ、多面的な機能が発揮されるよう、計画的な森林整備を促進します。		
事業概要 【PLAN】	・ 小学校を対象に森林等を利用し、森林環境学習を実施し、森林の多面的機能、維持回復への関心の向上を図る活動について補助します。 ・ 市産材を用いた親子木育体験開催により木材への関心の向上を図ります。		
対象 【PLAN】	伊達市内小学校	意図 【PLAN】	伊達市内小学校児童が、森林の多面的機能などへ関心を持つ。
意図の実現のために必要なこと 【PLAN】	伊達市内の小学校による補助金を活用した森林環境学習活動実施への積極的な参加を促す。 市内小学生を対象にした木幾教室の開催。		

事業費【D0】		年度 単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (予算)	07年度 (予算)	08年度 (予算)	09年度 (予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	3,692	3,623	3,562			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	40	33	123			
事業費合計		千円	3,732	3,656	3,685			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
森林環境学習活動実施小学校数	校	目標値が実績値以上となること	目標値	8	8	8	8	9
			実績値	8				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】								
	評価視点			評価の結果				
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか			次世代に対して森林への関心の向上を図り、林業の活性化を見込むものであり、優先度は高い。				
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか			小学校の授業で取り組むため、教育的な効果が期待できる。				
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか			福島県から交付される森林環境交付金を活用し、交付金内で実施できるよう調整している。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	小学生が授業の一環として森林学習できる機会を得られることは有意義である。